

事業所名 あんSchoolステップ

支援プログラム

作成日 2025年 3月 20日

法人（事業所）理念		あん心 安定 自分らしく		
支援方針		子どもの個性を尊重し、様々な体験活動を通して将来必要となる能力を伸ばしていきます。		
営業時間		9時 から 18時 まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	自らの体調について理解・把握できるよう意識させながら、健康な心身の獲得と基本的な生活習慣・基本的技能が身に着くよう支援する。クッキングを通して料理の楽しさや様々な食事の経験を積み、食事への関心を高めると同時に食事のマナーや、生活リズムの定着を目指す。		
	運動・感覚	定期的に運動の機会を作り体力の向上及び運動能力の向上を支援する中で、身体の不自由さをなるべくを取り除けるよう最低限の生活活動能力が身に着くよう支援する。感覚過敏保有者に留意しながらも、手指の細やかな動作や五感を十分に活用できるよう道具や遊具を用いた遊びを取り入れていく。		
	認知・行動	絵カードやルール表、スケジュールボード、当番活動表など視覚から得られる情報を増やし、誰でも同じ行動ができるであろう構造化を行い支援する。また、児童が自ら行動に繋がられるよう支援しつつ、難しい場合には個々にあった構造化や支援を提示する。今までの経験と自己認知・自己理解の再構成プログラムの実施しや自立訓練の実施をする。		
	言語 コミュニケーション	個々の配慮すべき特性を考慮し、その場面の相互作用を通してコミュニケーション能力を支援し、必要に応じてSSTを実施し生活能力の向上を促す。遊びを通し、相手との関わりの中で相手の気持ちに寄り添いながら自らの考えや意見を伝えられるよう支援し、社会生活の場において適切な対人コミュニケーションができるように支援を行う。児童期→非言語的、思春期・青年期→言語的な関わりを大事にする。		
	人間関係 社会性	集団生活に問題なく参加するための手順やルールを実践しながら学ぶ機会をつくる。特に課外活動などの行事を通して社会性を知る機会を作り、良好な対人関係が築けるよう支援する。集団活動や苦手な場面でも、対人とのつながりを大事にし、相互理解や自己を客観視できる環境を提供し、より協調性が身に着くよう支援する。		
家族支援		児童の成長や毎日の変化が家族の心身の負担を軽減させることに繋がると考え、児童の事業所での様子、具体的な支援内容を適宜家族と情報交換の場を設け、支援者側からも家庭での協力を促す。	移行支援	事業所で支援を通し、地域社会や、同年代、他年代ともスムーズに関わりができるよう、課外活動を通し同様な場面を提供する。ライフステージが変化する場合は移行先の支援者と情報交換をしていく。
地域支援・地域連携		児童に応じた適切な環境や福祉サービス、医療機関などと連携し、将来を見据えた関係性を維持する。また、家族支援の際に、児童・家族に有益な情報は適宜提示していく。	職員の質の向上	支援者の技能向上のために、支援に関する研修の斡旋、資格修得の斡旋を行っていく。また、外部での研修が難しい場合には、事業所内の職員で様々な事例を取り上げ実践研修を行っていく。
主な行事等		季節に関するイベント（初詣、お餅つき、節分、七夕、芋掘り、クリスマス、ハロウィン、花見、製作、公園散策等） SSTに関するイベント（グループワーク、電車体験、外食体験、公共施設の利用、クッキング、買い物体験等） 長期の休みには各日イベントを用意する。		